

かたやまづおんせん

片山津温泉地区

(石川県加賀市)

- 計画期間 平成29年度～令和3年度
- 面積 41ha
- 交付対象事業費 421百万円
- 市人口 64,905人

ポイント

柴山湯の自然景観を活かした温泉街と水辺と歴史を巡る回遊ルートの創出。

地区概要

片山津温泉地区は、優れた眺望景観を有する柴山湯湖畔にひろがる温泉街であり、水辺空間と眺望景観を活かした、歩いて楽しい温泉街の魅力づくりを図る。

目標

温泉街と湖畔をつなぎ、地域資源である柴山湯の自然景観を活かした水辺の回遊ルートの確立と、来訪者の駐車場不足や外国人にも対応したまち中の散策環境を整える。

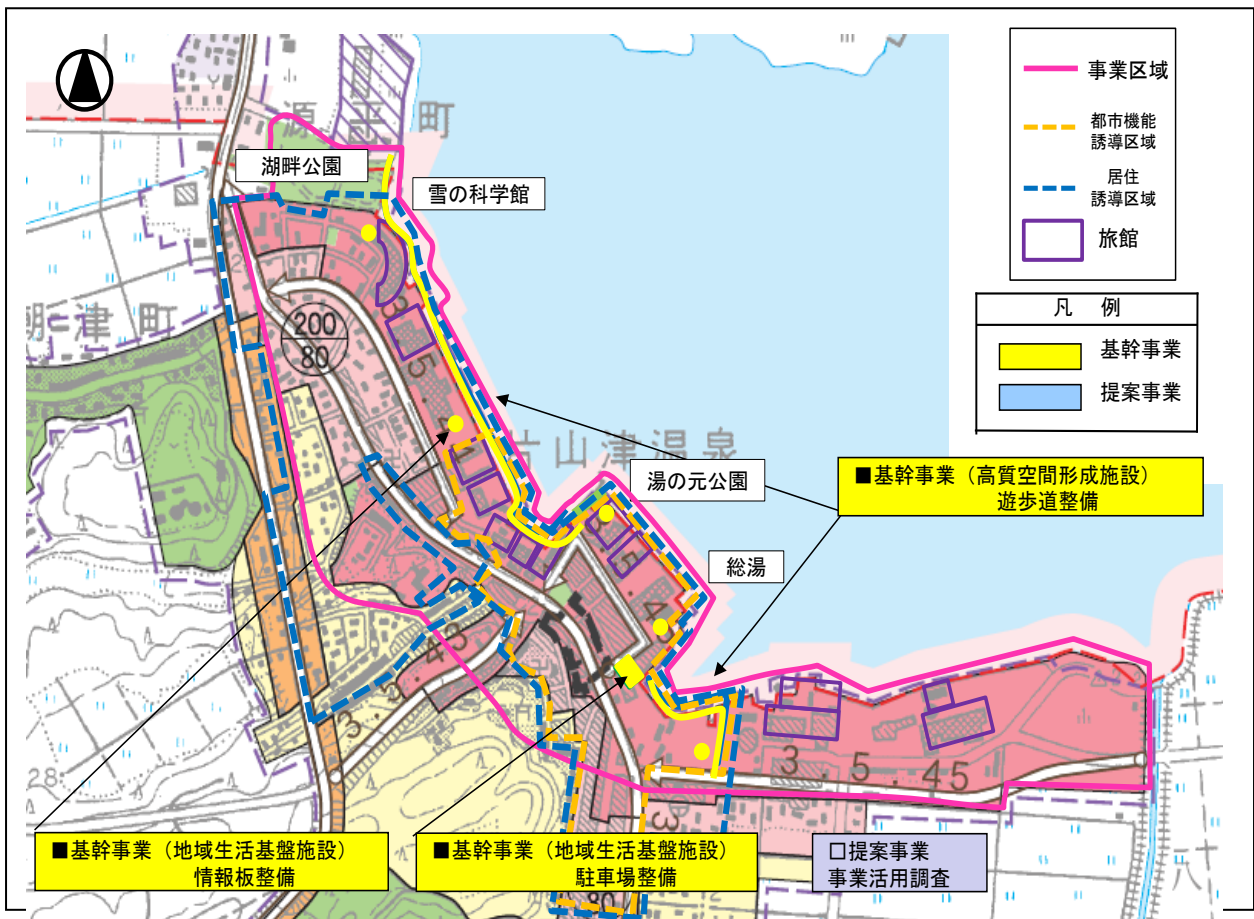
指標

水辺の回遊ルートの整備、駐車場整備、情報板（外国人観光客に対応）整備によって、観光客のまち歩き周遊や公共施設利用が増加する。

片山津温泉外国人観光客数	18,161人/年 (H28)	→	20,000人/年 (R3)
雪の科学館入館者数	25,852人/年 (H28)	→	26,000人/年 (R3)
遊歩道通行者数	197人/10h (H28)	→	300人/10h (R3)

事業内容

- 基幹事業（419百万円） → 高質空間形成施設（遊歩道整備 L=1,000m）
地域生活基盤施設（駐車場整備 A=1,160㎡）（情報板整備 N=5箇所）
- 提案事業（2百万円） → 事業活用調査



地区の現況と課題

片山津温泉地区は、優れた眺望景観を有する柴山潟湖畔に広がる温泉街である。観光地として発展してきた本地区であるが、消費者ニーズや旅行形態の変化などで観光客数は、昭和55年の1,514千人をピークに平成19年には322千人にまで減少し、現在営業している旅館数は全盛期の1/3以下になっている。まちづくり総合支援事業(H14～H18)及び都市再生整備事業(H19～H23)では、総湯、広場、足湯、遊歩道、散策路小路や街路の整備などに取り組み、温泉街の魅力向上が図られている。課題としては、①白山眺望や柴山潟湖畔など優れた眺望景観を有しているが、柴山潟湖岸に温泉旅館が建ち並んでいるため、市街地から潟を望むことが出来ず、湖畔の温泉地として地域資源が活かされていない。②まち歩きが楽しめる湖岸の周遊ルートと、来訪者のための観光駐車場が必要である。③インバウンド観光の推進により、外国人観光客は増加傾向にあるが、外国人のまち歩きに対応した回遊環境の整備がされていない。このため地域住民のほか、旅館事業者や地元観光協会が主体となったまちづくりを推進し、片山津温泉の魅力向上による更なる賑わい創出が求められる。



柴山潟湖畔からの白山眺望



湖畔遊歩道

提案事業の特徴

事業活用調査

湖岸周遊ルートの利用実態について、地元住民や利用者から聞き取りアンケートを行い、利用促進に繋がる施策を実験し調査する。



情報板イメージ図

計画策定プロセス

柴山潟を活かしたまちづくりに向けた取り組み

片山津地区は、柴山潟周辺からの眺望景観を保全し、市街地と柴山潟が一体となった魅力ある観光地の形成を目指しており、水辺の周遊ルートを中心とした歩いて楽しい散策路の重要性の認識から、H28年度に住民、沿線事業者を交えた柴山潟湖岸遊歩道計画連絡調整会議を3回開催した。石川県の施工している浸水対策の堤防を利用した遊歩道計画を策定するとともに、温泉街の魅力的なまちづくりを推進している。



柴山潟湖岸遊歩道計画連絡調整会議